令和6年度　第1回門司在宅医療・介護従事者研修会

1．実施概要 :講演会　「HIV感染症について学ぼう」

① 実施日時　令和6年１２月６日（金）　18時30分～２０時００分

② 実施場所　門司区医師会館　３階講堂

③ 参加者

職種	人数
医師	2　名
薬剤師	3　名
看護師・准看護師	9　名
ケアマネジャー	10　名
介護職	5　名
ソーシャルワーカー	6　名
その他	1　名
合計	36　名

所属機関	人数
医療機関	11　名
薬局	3　名
介護施設	6　名
訪問	14　名
その他	2　名
合計	36　名

※門司医師会会長1名、担当理事1名、
連携支援センター職員2名含む

④ 内容

時　間	内　容
18:30～19:50	開会挨拶（門司区医師会会長　香月　きょう子先生）
	（座長：門司在宅医療・介護連携支援センター 新門司病院　院長　白川　伸一郎先生）
	第一部：「HIV/エイズの基礎知識と療養支援」 講師：産業医科大学病院 看護部 HIVコーディネーターナース 田中 美佐子先生
	第二部：「拠点病院との連携・地域連携・HIVと社会資源」 講師：産業医科大学病院 患者サービス室 室長 ソーシャルワーカー　野田　雅美先生
19:50	事前質問・質疑応答
20:00	閉会

2．アンケート（回収率88%）

（1）HIVの感染対策は標準予防策（スタンダードプリコーション）でよいことを知っていましたか。

知っていた	12	知らなかった	18	未回答	2

（2）HIV陽性者の支援や受入れなどの経験がありますか？ ある➡設問3へ　ない➡設問４へ

ある	3	ない	29

（3）HIV陽性者の支援や受入れで困ったご経験があればご記入ください。

チームで関わる。みんなに正しい医療知識やミーティングが充分でなかった。
事業所を紹介するにあたり、情報の提供を伝える必要性をご本人の了解を得られなかった。
家事支援のみだったので特に問題なかった。

（4）今後のHIV陽性者の支援や受入れについて伺います。

支援を行う・受け入れる	17	条件付きで、支援する・受け入れる	8
支援・受入れは困難	1	未回答	6

条件付きで、支援する・受け入れるを選んだ方：条件

職員が理解できるように研修があると言われていたので研修の開催を何回かして頂いた後。
しっかりと自分たちが支えられるようにならないといけないので知識を教えて頂けるようサポートしてほしい。
チーム内にて相談。 / 病院の方針。

未回答

個人的には支援を行いたいと考えている。上司や職員への理解がどこまで得られるのか不安がある。

（5）本日の研修会はいかがでしたか？

大変参考になった	21	参考になった	11	どちらとも言えない	0
あまり参考にならなかった	0	全く参考にならなかった	0		

HIVについての知識が全くなかったので参考になった。また、門司区内にも患者さんがいるのには驚いた。
自分がHIV感染症について分かり易く正しく説明できるようになる内容だった。障害者手帳のこと、更生医療のこと、訪問看護のどの制度で適応になるかなどわかった。
正しく新しい知識を理解できた。 / 自立支援医療について話が聞けてよかった。
唾液や涙、尿などの体液からは感染しないということを初めて知りました。
障害福祉サービスを紹介するにあたって正しい知識を伝えることができる。
今までエイズという言葉は知っていたがどのような病気なのかは全く知らなかった。今回の研修でエイズは受診の継続と内服の継続により普段通り日常生活が送れると理解できた。
２０年以上前の知識のままだったので現在の治療やサービス事業所とのやりとりや連携について知ることができ、とても理解が深まった。
自分自身、HIV陽性者へ偏見がないかといえばそうでもない。今回の研修で粘膜暴露による感染率の低さに、きちんとスタンダードプリコーションを行っていれば支援は可能だと思うことができた。

（6）研修内容は今後の職務に活かせると思いましたか。

大いに活かせる	21	まあまあ活かせる	11	どちらとも言えない	0
あまり参考にならなかった	0	全く参考にならなかった	0		

今後支援に関わっていくことが実際にあるかどうかは不明ですが何かの時のために正しい知識を教えて頂くことができました。正しい理解と個人を尊重することがＨＩＶだけに限らず、支援者として常に意識しなければならないと思いました。
HIVに限らず正しい知識があればこわいものはない、ということ。それを説明し理解頂けるようになれたらと思いました。
HIVの方に今まで会ったことがなく知識不足。不安が多い。 / 研修内容を管理者と情報共有したい。
相談業務として多職種の連携。伝えることができる。
実際にB型肝炎やC型肝炎の方の支援も行っているためHIV陽性者を特別な目で見なくてよく、ひとりの人として対応できるように正しい知識を身に着け対応していきたい。
エイズに限らず感染症は多くあります。何をおいても予防策をしっかり理解し対応していきたい。

（7）本研修会についてのご意見・ご感想、今後の研修会で希望されるテーマについて

どんな患者様も多職種の連携、協力が必要だと改めて思いました。大変勉強になりました。
今まではすぐ感染して怖いと思っていたが勉強するときちんと対処していれば怖くないとわかった。
HIV患者が今後高齢化してくるという話を聞いて、施設やサービス事業所、スタッフの知識や理解がとても大切であると思った。
統合失調症など精神疾患等勉強していきたい。
感染症患者様への差別、偏見等や、「理解をすること」の大切さなどとても勉強になりました。